

再生可能エネルギーの特徴

再生可能エネルギー（Renewable Energy）は、環境にやさしく、枯渇する心配が無いいため、近年新しいエネルギーとして注目されています。

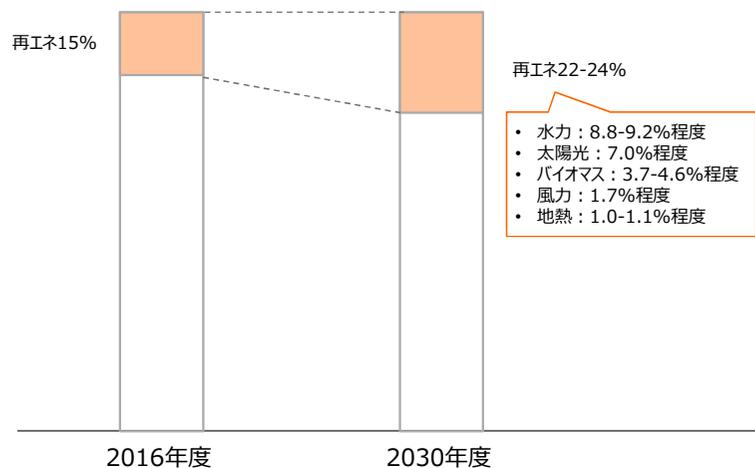
再生可能エネルギーの特徴

エネルギー供給事業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律（エネルギー供給構造高度化法）においては、「再生可能エネルギー源」について、「太陽光、風力その他非化石エネルギー源のうち、エネルギー源として永続的に利用することができると認められるものとして政令で定めるもの」と定義されており、政令において、太陽光・風力・水力・地熱・太陽熱・大気中の熱その他の自然界に存する熱・バイオマスが定められています。なお、再生可能エネルギーには、下記の特徴があるとされています。

- 国内エネルギー自給率をアップ：太陽、風、水、地熱、森林などの国内にある自然のチカラを効率的に電気へ変換するため、エネルギー自給率の向上につながります。
- CO₂排出が少なく地球にやさしい：化石燃料を使う発電と比べると、環境への影響を最小限に抑えることができ、地球全体の環境問題の解決につながります。
- 新たな産業を創出：新しい発電技術を開発して、国際競争力を高めるだけでなく、最新の発電施設を建設することで、新たな産業が広がります。

我が国では、2030年度の再生可能エネルギー比率22～24%を目指すこととしています。

長期エネルギー需給見通し（電源構成）



出典：経済産業省 エネルギー庁

一般的に知られる再生可能エネルギー

太陽光 太陽熱利用	洋上風力 陸上風力	バイオマス バイオガス	小水力 大規模水力	地熱 地中熱
雪氷熱	温度差熱 海洋温度差	空気熱	波力 潮汐・潮流	